



NO.040

FAS通信

平成18年8月号
株式会社福地建築
北斗市中野通324番地
TEL0138-73-5558

～地球にやさしい、木が長持ちする住まい～

今年に入り、環境問題を訴えかけるテレビ番組・商品・CMが更に加熱しております。ファースの家は、その高い性能から「超省エネ住宅」と言えますが、もう一つ、環境のために知っておいて頂きたいことがあります。

家をつくる時は必ず木材を使用しますが、木材は成長する時に光合成をし、太陽の光というエネルギーを使って水と二酸化炭素から糖と酸素を作り、この糖という栄養分によって成長します。つまり、木は光合成を行う時、人間と反対に二酸化炭素を吸って酸素を吐き出しているのです。この作用で地球はきれいな空気に保たれていますが、実際、この木材が大きな問題となっています。

日本の森は約2500万ヘクタールあると言われており、この日本全体の森が吸収する二酸化炭素は約9100万トン、そして放出する酸素は約6600万トンと言われております。では、日本全体でどれほどの二酸化炭素を排出しているのでしょうか。答えは「12億トン以上」です。したがって全く足りません。それにもかかわらず、私たちの住む家の多くは、私たち自身が放出する膨大な量の二酸化炭素を吸収してくれる木材の多くを使い捨てにしています。

私たちは、二酸化炭素排出量を減少させるため、もっと身近なところから意識しなくていけないと思います。例えば、車を使わないとか、暑くてもエアコンを使わないとか・・・ちょっとした我慢も必要かもしれません。しかし、家に不便や不快を感じ、健康を脅かすかもしれない住環境に我慢し続けるのは、大きな問題です。先に申し上げたとおり、家に使用する木材は、二酸化炭素を分解するわけではなく、あくまで自分の中に取り込んで、酸素を吐き出しているに過ぎません。当然、腐って朽ちる時や、廃棄の際に燃やした場合には、大気中に多くのガスや、二酸化炭素を吐き出してしまいます。つまり、使用した木材は恒久的に使用し続けることで、環境に貢献しているといえます。これは、家に限らず、家具や建具といったものにも共通して言えることです。

「ファースの家」は、快適性や省エネと同時に、水分を管理する重要な能力を持っています。この機能が木材の持つ水分量を安定させ、木そのものが腐ってしまうことを防いでくれます。長持ちする住まいは、経済性だけではなく、木材を長持ちさせることで環境に大きく貢献していることを是非知っておいて頂ければと思います。

建築廃材の行方

家を建て替える時のつき物が「解体費」ですが、この解体費が高いと思われ

る方も多いのではないのでしょうか。確かに解体費は、昔に比べて高くなっています。その訳は、2002年「建築リサイクル法」の施行で拍車がかかりました。

この法律が出来るまでは、重機で一気に建物を壊し、産業廃棄物として捨てる「ミンチ解体」が多かったのですが、法律の施行後、手壊しと重機を併用した「分別解体」になり、細かに分別して捨てる事が義務化されました。これにより、解体に対する手間がかかり、解体費が高くなってしまったのです。

家は、人が住まなくなるとただの粗大ゴミです。しかし、お金と手間をかけることによってゴミから資源へと変わっていきます。

例えば、家1件を解体した時にでるゴミの割合を見ると、実に75%がリサイクルできる資源です。しかし、残念ながら、いくらたくさんの資源がリサイクルされたとしても、元の素材よりも安価で上質のものに変わることはほとんどありません。また、リサイクルされることなく不法投棄されてしまう場合もあります。

今の世の中は、リサイクルが主流となっていますが、住宅に限って言えるのは、家を長期的に保持しつづける事なのです。

建築廃材の内訳

廃プラスチック	43%
木材	18%
ダンボール	12%
ガラスなど	2%

(テレビ東京トコトンハテナより)

～虫除け効果のあるニンニクと鷹の爪～

1年で最も憂鬱な梅雨がやっと終わり、ふと気がつくとも米びつのお米に虫がついてしまっていないかな？

そんな時、米びつにニンニクか鷹の爪を入れると虫がつきにくくなるんだよ。これはどちらにもある辛味成分が殺菌性や駆虫性を持っているから、防虫効果があるんだ。ただ、入れすぎてしまうと臭いがついてしまう場合もあるから、入れる量には気をつけてね。

また、既に虫がついてしまった時は、一度紙の上に米を広げ、日光にあてると虫は外に出るんだよ。ただし、虫が出たらすぐにしまうようにしないと、日光に当て過ぎると米のうまみが逃げ出すから気をつけてね。

